令和8年度 岡山大学附属中学校
教育研究発表会　二次案内

「今日も充実。明日が楽しみ。」

探究がつなぐ、学び。ウェルビーイングの実現へ。

開催日

令和8年11月12日(木) 13:00～16:50

6教科の公開授業　研究協議　基調講演

国語・社会・音楽・美術・技術・英語

会場　岡山大学附属中学校

公開授業の内容

授業で見る、生徒の学びの変化

国語　1年C組　授業者　釼持 太一

「質問」は誰のためのもの？

単元名「なんで？」

話し合いの場で、実際に質問を効果的に使用できるのかを検証します。そして、生徒が実際に発した質問を協働的に吟味していくことで、よりよい質問のあり方について検討していきます。質問に対する「攻撃する・されるもの」という認識から、「自他の成長を促す価値あるもの」という認識への変容を目指します。

見るポイント：生徒が自ら質問を価値付けていく姿

社会　3年B組　授業者　藤原 晋也

「安い」だけで、本当にいいの？

単元名「生産の場としての企業」

もし、あなたの街に超大型スーパーができたら？さまざまな立場を想定し、価格競争について考えます。それぞれの願いや困りごとを比べながら、社会をつくる一員として、競争の良さをいかした、安心して暮らせる社会にするための「社会のルール」を構想することを目指します。

見るポイント：社会の一員として、多様な立場と対話し、より良い社会を構想する姿

音楽　2年D組　授業者　斉藤 栄里子

音で見える世界は変わる？

題材名「音の働きを生かして、表現をデザインする」

短い共通映像を手がかりに、音楽を創作します。聴き手がどう感じたかを受け取り、音の重なりや反復・変化などの使い方を試し直します。意図と実際の響きとの関係を捉え直し、自分たちが納得できる表現を選び取る姿を目指します。

見るポイント：聴き手の感じ方を手がかりに音を試し、「変える／残す」を自分たちで判断する姿

美術　１年B組　授業者　武田 聡一郎

文字だって感動したい。

題材名「文字のデザイン」

「学びの扇」を活用し、生徒が学ぶ姿を見取ろうとしています。また、生徒は、「学びの扇」を使って自分の活動を振り返っています。生徒も教員も、新しい見方で学びを捉え、これからの学びを見つめることを目指します。

見るポイント：「ふっ」と心に湧き上がり、動き出す姿

技術　2年A組　授業者　水井 佑輔

「使う人」にとって、よいものって？

単元名「幼児の遊びを支える電気おもちゃ」

前時に幼児に使ってもらった電気おもちゃについて、そのときの姿や反応を振り返ります。「思ったように遊んでくれた」「ここでは使いにくそうだった」といった実際の姿をもとに、回路や部品、構造、使いやすさ、安全性を見直し、相手にとってのよりよさを技術的な根拠から考えることを目指します。

見るポイント：幼児の姿や反応を根拠に、相手にとってのよりよさを考える姿

英語　3年C組　授業者　梶山 和俊

What is a debate for?

単元名　「Design for Change」

ディベートを通して、「どうすればリスナーを説得できるのか」「どのようにすれば相手の心を動かす主張ができるのか」という視点で学習を進めます。効果的な単元構成や有効な足場かけを検討することで、相手意識をもって自分の考えを伝える力の向上を目指します。

見るポイント：相手意識をもって自分の考えを伝える姿

令和8年度 研究の全体像

共通研究主題

ウェルビーイングの実現に向けて探究し、自ら資質・能力を高める生徒の育成

学校教育目標　自主自律　豊かな心で　たくましく

今日も充実
- 居場所がある
- 周囲とのつながり
- 支援を感じる

ウェルビーイングの実現
今日も充実。明日が楽しみ。

明日が楽しみ
- 学ぶ意義を感じる
- 将来への見通しをもつ
- 挑戦する

生徒の変容として捉えたい姿
自己の状態に気づき、対処しながら探究し、自ら資質・能力を高める

令和８年度の重点課題

教科指導
学習内容や過程を、自分・他者・社会・未来へ結び付ける

探究の意味付け ⟷ 自己認識・自己調整 ⟷ 居場所感

学校方針
学校が意図的に整える仕組み

学校方針によってつながる教育活動

各教科	ER（総合）	特別活動・道徳
ウェルビーイングの実現に資する資質・能力の育成	• 個人探究の充実 • 探究プロセスの多様化	• 生徒主体の学校生活改善や行事の創造 • よりよい生き方の追求
SEL-8S	チーム担任制	教育相談

学校環境
生徒が仕組みをどう経験し受け止めるか

学校環境（学びの土台）
安心して表現できる ・ 相談しやすい関係性 ・ 挑戦・参画できる

研究の方法
実践と検証・改善のサイクル

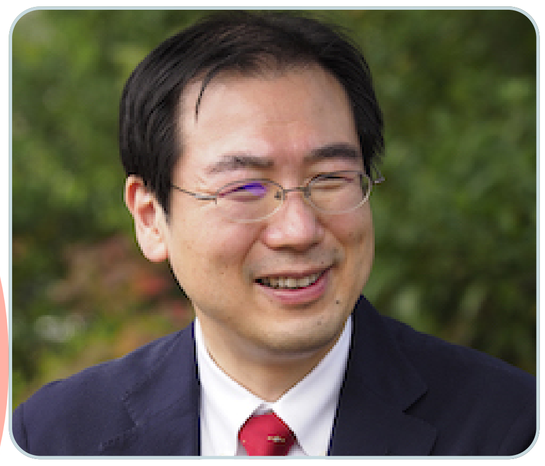
① 実践
② 生徒の変容の把握
③ 量的・質的な検証
④ 教育課程の改善

当日時程　探究の学びを通して、今と未来をつなぐ一日です。

13:00	13:30	13:50	14:00	14:50	15:00	15:40	15:50	16:50
受付	全体会 20分	移動	授業公開 50分	移動	基調講演 40分	移動	研究協議会 60分	

基調講演

演題「AI時代におけるウェルビーイングの実現と探究 ―今日も充実。明日が楽しみ。を支える学びとは― 」



博士（医学）
狩野 光伸 氏

岡山大学　副理事　附属学校機構長
学術研究院ヘルスシステム統合科学学域　教授
ウェルビーイング学会 理事
文部科学省　科学技術・学術審議会　委員
UNESCO　国際基礎科学計画アドバイザー
ベネッセ教育総合研究所　理事

AIが知識や情報を容易に扱える時代に、人が学ぶ意味とは何でしょうか。自分自身の経験や違和感から問いをもち、他者と関わりながら、自分なりの答えや新たな価値を生み出していく探究に着目します。学習指導要領改訂の動向も踏まえながら、ウェルビーイングと探究の関係を捉え直し、これからの時代に求められる学びや学校の在り方について考えます。

研究体制・参加申込・アクセス

研究体制

教科	研究主題	助言者	司会者	研究協力員
国語	考えを自覚的に表現し合う生徒の育成 ～「質問」を契機として～	岡山県総合教育センター　研修部 指導主事　市村 舞子 岡山大学学術研究院教育学域　教授　宮本 浩治 岡山大学学術研究院教育学域　准教授　池田 匡史	倉敷市立玉島西中学校 元校長　平櫛 和男	備前市立備前中学校　教諭　後藤 亨朗 瀬戸内市立邑久中学校　教諭　四十塚 都
社会	社会との関わりを自覚し、より良い未来を構想していく生徒の育成 ～自らの学びを深化させていく活動を通して～	岡山県教育庁義務教育課　指導班 指導主事(主幹)　米林 哲郎 岡山大学学術研究院教育学域　教授　桑原 敏典 岡山大学学術研究院教育学域　教授　山田 秀和	岡山市立瀬戸中学校 校長　西山 径	岡山市立興除中学校　主幹教諭　渡邊 晶 津山市立北陵中学校　教諭　松本 祥輝
数学	日常生活や社会の事象に数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決しようとする生徒の育成 ～つながりを意識した指導を通して～	岡山県総合教育センター　企画部 指導主事　福島 大祐 岡山大学学術研究院教育学域　准教授　服部 裕一郎 岡山大学学術研究院教育学域　講師　石橋 一昴	岡山市立岡輝中学校 校長　永井 正博	岡山市立灘崎中学校　教諭　川本 芳弘
理科	自然の事物・現象を多面的・総合的に捉え、理科の見方・考え方を働かせて未来の課題に主体的に向き合う生徒の育成 ―『エネルギー概念』を柱にした、３年間を系統的に貫くカリキュラム―	岡山市教育委員会事務局学校教育部　学校指導課 課長補佐　河原 大輔 岡山大学学術研究院教育学域　教授　藤井 浩樹 岡山大学学術研究院教育学域　教授　稲田 佳彦	岡山市立芳田中学校 校長　西川 裕	岡山市立岡北中学校 主幹教諭　小坂 建太 岡山市立高島中学校　教諭　家岡 正明
音楽	豊かな創造性を発揮する生徒の育成 ～感性を手がかりに試行錯誤する「探究的な学び」を通して～	岡山市教育委員会事務局学校教育部 岡山市教育研究研修センター　指導主査　三村 悠美子 岡山大学学術研究院教育学域　教授　早川 倫子 岡山大学学術研究院教育学域　講師　髙須 裕美	岡山市立桑田中学校 副校長　塩見 聡	岡山市立操山中学校　教諭　福岡 詩織
美術	創造活動の遊ぶ活動と教わる活動を行き来し、自らの学習を調整しようとする生徒の育成	岡山県総合教育センター　研修部 指導主事　林 勇介 岡山大学学術研究院教育学域　教授　清田 哲男	岡山市立岡山中央中学校 校長　横田 さなえ	岡山市立福浜中学校　教諭　山田 素子
保体	ウェルビーイングなスポーツライフを実現する生徒の育成	岡山県教育庁保健体育課　指導主事　宮崎 准二 岡山大学学術研究院教育学域　教授　足立 稔 岡山大学学術研究院教育学域　准教授　原 祐一	岡山市立芳田中学校 主幹教諭　岩谷 諭	岡山市立芳泉中学校　教諭　小林 健太郎
技術	技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を自ら高める生徒の育成 ～ウェルビーイングの実現に向けた問題解決を軸としたカリキュラム・デザインを通して～	岡山県総合教育センター 企画部 指導主事　大守 徹 岡山大学学術研究院教育学域　教授　入江 隆	倉敷市立黒崎中学校 教頭　日吉 康幸	岡山市立妹尾中学校　教諭　西﨑 康晴
家庭	生活の中に多様な視点を持ち、意思決定できる生徒の育成 ～エンドレスクッキーを起点としたウェルビーイングの実現を目指して～	岡山市教育委員会事務局学校教育部 岡山市教育研究研修センター 指導副主査　石田 真梨 岡山大学学術研究院教育学域　教授　李 璟媛 岡山大学学術研究院教育学域　准教授　久成 三有紀 美作大学　准教授　小橋 和子	玉野市立東児中学校 校長　大山 都	倉敷市立東陽中学校　教諭　川上 祥子
英語	英語での言語活動を通して、自らのウェルビーイングを高める生徒の育成 ～自己の確立と相手意識を持った質の高い対話を促す授業の追究～	岡山市教育委員会事務局学校教育部　学校指導課 指導副主査　能井 俊昭 岡山大学学術研究院教育学域　教授　阿部 真理子 岡山大学学術研究院教育学域　准教授　小山 尚史 岡山大学学術研究院教育学域　講師　山形 悟史	岡山市立竜操中学校 教頭　綾野 珠紀	岡山市立操山中学校 主幹教諭　安井 有香子

参加申込

申込フォームはこちら

申込締切

11月9日（月）

https://forms.gle/wFiwLk9drZY1U2s97

アクセス

JR岡山駅

↓ 路面電車「東山行」

東山・おかでんミュージアム駅

↓ 南へ徒歩5分

岡山大学附属中学校

〒703-8281　岡山県岡山市中区東山二丁目13番80号

〈お問い合わせ〉研究主任 三村脩祐　Tel：086-272-0202　E-mail：p8cy1ujx@okayama-u.ac.jp

主催：岡山大学附属中学校・岡山大学　後援：岡山県教育委員会・岡山市教育委員会